

西浦地区
かわら版
第5号

西浦地区
まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

将来の西浦地区と公共施設の姿について、地区の皆様とともに考えています。

蒲都市では、今後の人口減少・少子高齢化が進む社会情勢を見据え、公共施設の維持更新費用で将来に大きな負担を残さないため、「身の丈にあった」施設保有量に適正化していく取り組みを進めています。

そこで今年度、西浦地区にある公共施設（小学校・中学校・保育園・児童館・公民館）の将来について、地区にお住まいの皆様と協働で考えていく機会として、「西浦地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を開催してきました。

2月25日(日)、にしうら児童館にて最終回となる第5回ワークショップを開催しましたので、その内容をお知らせします。

また、ワークショップで話し合われてきた内容等についてのご意見を引き続き募集しています。最終ページの「ご意見募集」をご参照の上、ご意見をお寄せください。

検討の進め方

蒲都市は、このワークショップをはじめ、広く地区の皆様からいただいたご意見を反映させた、西浦地区の公共施設の配置や活用方法を示す「地区個別計画」を策定します。下図のように段階的に検討を進めています。第5回ワークショップでは、施設の再配置プラン案を比較しながらどの案が西浦地区の将来の姿としてふさわしいかについて話し合い、施設の再配置を実施後に運営面等で配慮しなければならない事項（付帯事項）についても意見を出し合いました。

進め方の
確認

地区の課題の
抽出

施設再配置
プランの検討

施設再配置
プランの比較

西浦地区個別
計画の策定

第5回ワークショップ 2月25日(日)開催

これまでのワークショップの検討を踏まえ、将来の西浦地区の公共施設の配置としてふさわしい案について話し合いました。



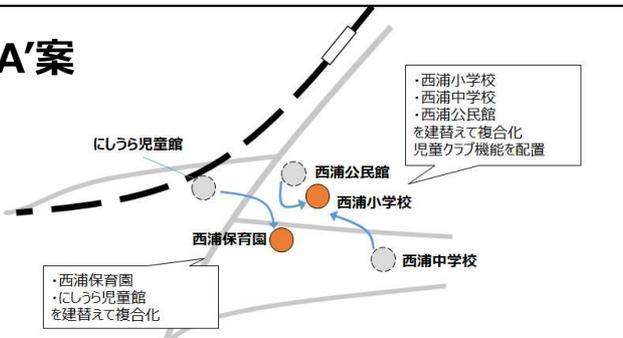
地区内の小中学校・保育園・児童館・公民館の配置や活用方法を定めます。

5つの再配置プラン案をもとに比較検討を進めました。

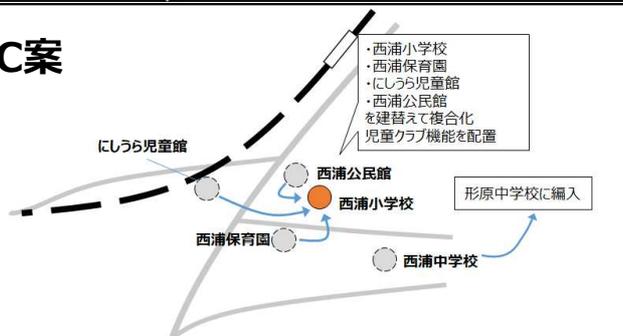
これまでワークショップでは、地区の将来像や課題について話し合い、それをもとに5つの再配置プラン案を作成し、比較検討を進めました。

● 複合化・集約化 ● 存続 ● 廃止・解体・跡地利用

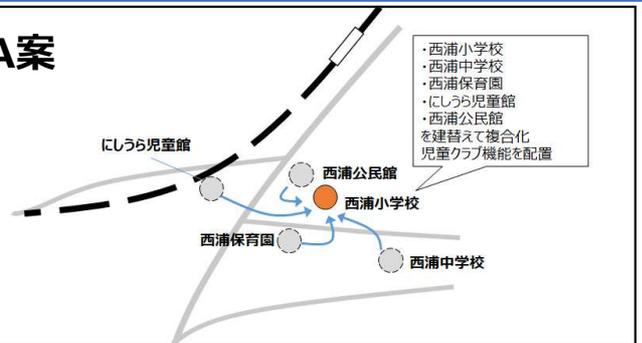
A'案



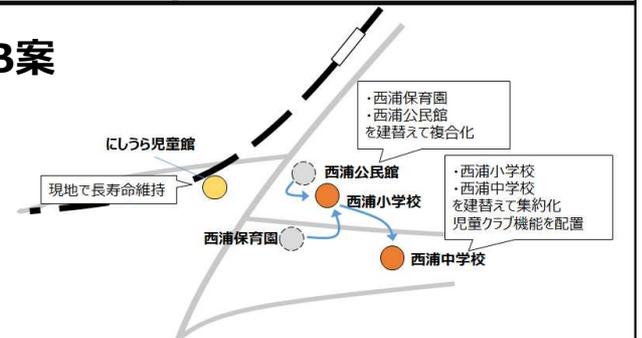
C案



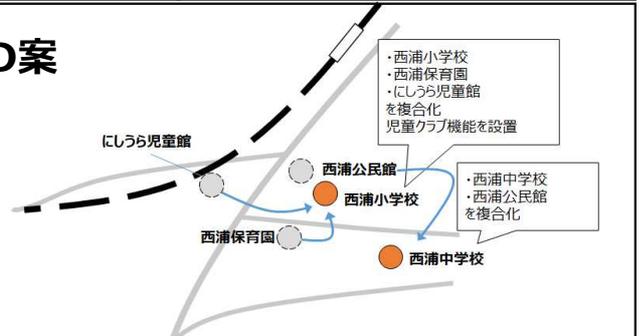
A案



B案



D案



ワークショップの中で皆様が重視したこと

ワークショップでは西浦地区の皆様が集まっていただき、地区の課題やその解決方法について話し合いを行ってまいりました。第5回ワークショップでは、これまでの検討を踏まえ、将来の西浦地区の公共施設の配置としてふさわしい案を検討していただくとともに、何を重視してその案を選んだか意見を出し合い、整理を行いました。

ワークショップに参加された地区の皆様が西浦地区の将来を考える際に重視していたことについて、ご意見を以下にまとめました。

教育

- 公共施設の再配置はよりよい教育環境を実現するチャンスだ。

教育と他施設との両立

- 地域交流の場と教育の場の棲み分けが必要。
- 保育園児が騒がしいと中学生の学習の支障とならないか不安。

学校と地域のつながり

- 学校と公民館・地域交流スペースの複合で学校と地域住民の交流を増やせる。

地域の拠点

- 小学校と保育園が一緒にあった頃のような一体感のある施設作りが望ましい。
- 1ヶ所に施設が集約されると西浦のランドマークになるし、情報も伝わりやすく、一体感が生まれる。

地域・交流の拠点

高齢者の居場所

- 高齢者のコミュニティの場や生きがいづくりが出来るとよい。
- 学校へのボランティアなど高齢者の活躍の場を作るべきだ。

施設の連携

- 小中学校・保育園が1ヶ所にあると、運動会などの学校行事が合で行え、盛り上がる。

子ども達の交流

- いろいろな人と接し、競争の機会がある環境のほうが、子ども達の成長にとって好ましい。
- 小学校と中学校が一緒にあることで交流が生まれる。
- 異なる年齢で一緒に学校に通えれば便利。

多世代交流

- お年寄りの存在が子どもの教育にいい影響を与えることがある。
- 少子化・核家族化の時代なので歳の離れている子ども達や子どもと大人・高齢者が交流する機会が増えることは有意義だ。

施設の相互利用

- 学校の空き教室などを地域の活動に活用できるとよい。

施設の連携

- 2つの施設が隣接するとイベント時の駐車場の融通など連携がとりやすい。

子どもを預けやすい環境

- 児童クラブが小学校と離れていて不便なので小学校の敷地に移転して欲しい。
- 子どもを預けやすい、働きやすい環境を整える。

子育て

- 児童館では乳幼児が元気に遊んでおり、子どもにとって充実した遊びの環境を増やしたい。

子ども達の安全

- 中学校の敷地周りは街灯や民家が少なく、防犯上好ましくない。

通学の利便性

- 小学生が西浦中学校の場所まで通うのは坂があり大変だ。
- 徒歩や自転車で安全に通学できるように通学路の整備が必要だ。

施設へのアクセス

アクセスしやすい場所

- 丘の上に公民館機能を移転させることは、高齢者の利用を考えると大変で無理がある。

施設の有効活用

- 比較的新しい施設は活用して欲しい。
- にしうら児童館は新しいので壊す必要がない。

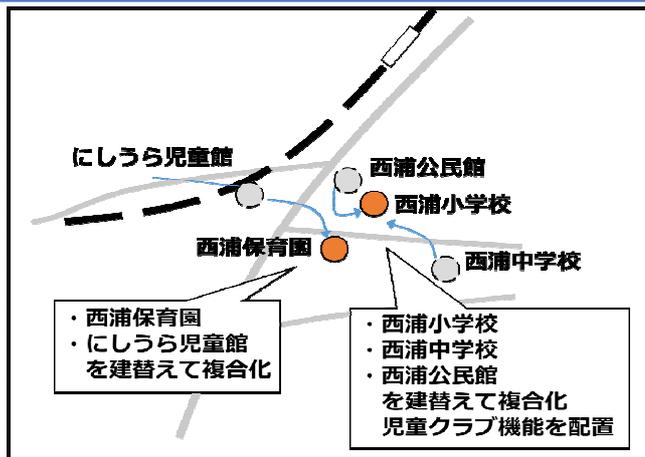
機能が集中しすぎない

- 1ヶ所に施設を集約するとそれぞれの施設の広さを十分確保できるのか心配。

もっとも期待の大きかったプラン

教育の充実や地域交流の観点から、地域の中心に機能が一体的に整備されるA'案に対する期待が多く集まりました。

A'案 利便性の高いエリアに機能を集めて地域の拠点をつくるプラン



〈概要〉

- 現西浦小学校と現西浦保育園の敷地を活用し機能を集めます。
- 西浦小学校に、西浦中学校と西浦公民館を複合化し、西浦保育園にしうら児童館を複合化します。
- 西浦保育園としうら児童館は、当面は現地に残し、適切な建替え時期に西浦保育園敷地で複合化します。

評価されたポイント

- 小中学校の集約化や子育て施設が隣接することで**教育環境・子育て環境の充実**が期待できる。
- **アクセスしやすい場所**に**地域の拠点**ができることで、**地区の行事**や**交流**の活性化が期待できる。
- 施設の集中により、**相互利用**や**連携**が期待できる。
- 1つの敷地に**機能が集中しすぎない**。
- 子ども達の通学などの**安全**が向上する。

選んだ理由や期待すること

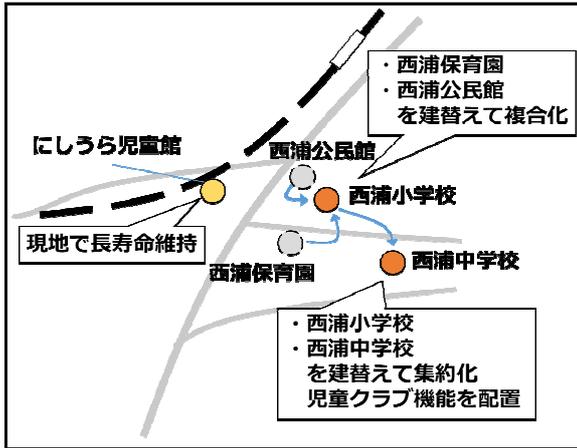
- **子育て環境の充実**
 - ・異年齢の交流について、小学校と中学校、未就園児と保育園という年齢の組み合わせはよい。
 - ・児童館と保育園を一緒にすることは、保育園の先生たちが地域の子どもの情報を得ることができよい。
- **地区の行事/施設の相互利用**
 - ・小中学校と公民館機能が複合化されていると町内行事が行いやすい。また、神社にも近く行事面での連携もとりやすい。
- **多世代交流**
 - ・高齢者と子ども達のふれあいの場ができる点がよい。
- **学校と地域のつながり**
 - ・小中学校と公民館を複合化すると、互いの見える化が進み、学校と地域とのつながりが高まる。
- **機能が集中しすぎない**
 - ・施設が小学校の敷地に集中しすぎていないので、(A案の) 必要な機能が確保されない懸念が緩和されている。
- **子ども達の安全**
 - ・保育園は送迎の車が集中する時間があり、安全面を考えると学校と保育園は別々のほうがよい。
 - ・児童館周辺の道は狭く危険なので、現状の立地から移転している点でよい。
 - ・中学校の敷地は高台で小学生の通学には負担が大きく、夜間は暗い。
- **その他**
 - ・まだ新しい児童館の建物が有効活用されていてよい。
 - ・災害時は、まず今いる所から一番近い高台に逃げるのが大事なので、必ず拠点が高台にある必要はない。

付帯事項 (運営面等で配慮すべきこと)

- **教育と地域交流の両立**
 - ・静かな学習環境とにぎやかな地域との交流は、防音壁など設計上の工夫で両立してほしい。
 - ・校庭の利用時間を分けたり、公民館の催しは授業に影響しない時間帯にするなどの工夫が必要。
- **教育環境の充実**
 - ・中学校の教育環境を改善するため、生徒数を増やす工夫やインターネットを活用した他校との交流など、少人数を補う工夫をして欲しい。
 - ・小中学校が集約化することで教育の質が低下することがないようにして欲しい。
- **子どもを預けやすい環境**
 - ・児童クラブはなるべく早く小学校へ移転してほしい。
- **高齢者の居場所**
 - ・児童クラブと公民館を隣同士の配置にするなど、高齢者が子どもを見守る関係を生みたい。
 - ・公民館に高齢者の憩いの場を整備してほしい。
- **安全の確保**
 - ・部外者が入れない学校・保育園と出入り自由な児童館・公民館の動線を分け、セキュリティに配慮してほしい。

その他の案に対する期待

B案 多世代の交流拠点と教育の拠点をつくるプラン



- 西浦小学校の敷地に、保育園、公民館を複合化します。
- 西浦中学校に小学校を集約化します。

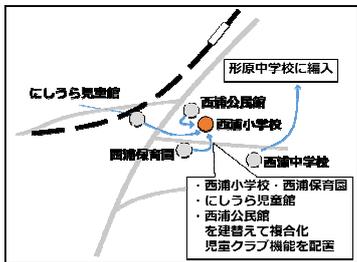
選んだ理由・期待すること

- 中学校敷地は静かで、グラウンドが広く部活動のスペースが確保できるので、教育環境として優れている。
- 中学校の敷地は高台にあるので、津波の際の避難所としてより安心できる。

付帯事項（運営面などで配慮すべきこと）

- 児童館の建物はまだ新しいので有効活用してほしい。

C案 西浦中学校を形原中学校に編入するプラン



- 西浦中学校を形原中学校に編入します。
- 西浦小学校に、児童館、保育園、公民館を複合化し、教育・地域活動の拠点を形成します。

選んだ理由・期待すること

- 中学時代は子どもの教育で重要な時期なので、クラスメイトが多い環境で人間関係をはぐむことが望ましい。

A案 施設を集中させて地域の拠点を形成するプラン



- 西浦小学校に、中学校、保育園、児童館、公民館を複合化し、教育・地域活動の拠点を形成します。

選んだ理由・期待すること

- 今後人口が減少して学校の建物を大きく作る必要がなくなるのならば、集約してコンパクトになるほうがよい。

● 複合化・集約化 ● 存続 ● 廃止・解体・跡地利用

皆様からいただいたご期待をもとに、市は「地区個別計画」を策定します。

いただいたご意見を参考に、市は今後さらに検討を進め、将来の西浦地区の公共施設の配置や活用方法を定める「地区個別計画」を策定します。

たくさんのご意見、まことにありがとうございました。

ワークショップに参加された方をはじめ、オープンハウス（パネル展示型説明会）でのアンケートにご協力くださった方など、これまで多くの方から貴重なご意見をいただきました。ご協力いただき、まことにありがとうございました。

〈ワークショップに参加してくださった方の感想〉

- 老いも若きも男女混合で最良の意見を出し合って良い機会だと思いました。
- ファシリテーターの方がいたのでとても話し合いがしやすかったです。今回は公共施設のことでしたが、今後、公共施設に限らない市民の声を聞いていった方が良いのではないかと思います。
- 同じ街に住んでいても話をすることがあまりなかったけど、よいコミュニケーションの場になったと思います。
- 西浦のまちづくりに少しでも携われてまちのことを考える良い機会となりました。
- 自分の都合で初回と最終回にしか参加できなかった事が残念です。普段あまり深く考えることのなかった自分の住んでいる地域の問題点について話し合いができた事は良かったと思います。
- 話をしてまとまった意見をもっとたくさんの人に広めて、よい点を実現してほしいです。

ご意見募集

- ワークショップで検討されてきた内容について
- 西浦地区のまちづくりや公共施設について

右の「お問い合わせ先」まで、メール・ファクス・郵便・持参により、ご意見をお届けください。
差し支えなければ、ご住所、お名前、年齢、性別、連絡先の記載をお願いします。

お問い合わせ先

蒲郡市総務部財務課 公共施設マネジメント担当
〒443-8601 蒲郡市旭町17番1号
TEL 0533-66-1158 / FAX 0533-66-1183
E-mail zaimu@city.gamagori.lg.jp

ワークショップでのご意見や資料等は、市ホームページに掲載しています。
<http://www.city.gamagori.lg.jp/unit/zaimu/machizukuri-kokyoshisetsu.html>